

【城郭等を中心とするもの】

用語	解説
「犬走」 (いぬばしり)	土塁や石垣の外側につくられた通路の様な平地。
「曲輪」 (くるわ)	お城を構成する一区画。「郭」と書く場合もあります。
「虎口」 (こぐち)	守りを意識したお城の出入り口。「小口」と書く場合もあります。
「土塁」 (どるい)	土を盛り上げてつくった防衛のための施設。
「縄張」 (なわばり)	お城の残された遺構の配置。(一般的にお城の設計プランという意味もあります。)
「根小屋」 (ねごや)	山城のふもとにある居住区域や集落のこと。「根古屋」、「根子屋」と書く場合もあります。
「高石垣」 (たかいしがき)	高く築かれた石垣。
「織豊系城郭」 (しょくほうけいじょうかく)	安土城(滋賀県)に始まる織田信長や豊臣秀吉の影響を受けた石垣を用いた城等。
「大手口」 (おおてぐち)	表玄関とも呼ぶべき主要な出入口。
「切岸」 (きりぎし)	自然の斜面を削ってつくった人工の絶壁。
「普請」 (ふしん)	石垣や土塁など、城を築くための土木工事のこと。